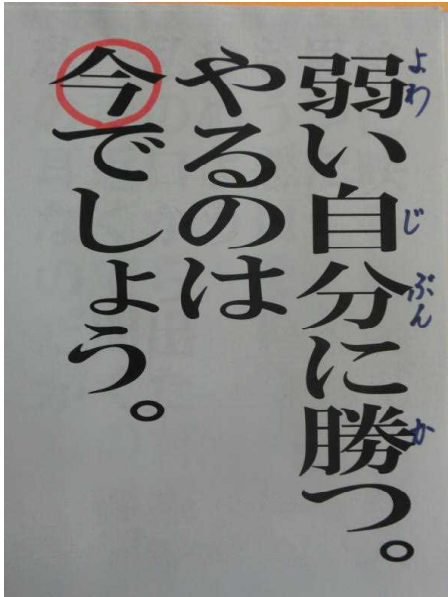


かがやけ あさひ

校長室だより 9月 2号



二学期が始まり、校舎に元気な子どもたちの歓声が響き渡っています。二学期の始業式に、この夏行われたリオのオリンピックの話をしました。金メダル12個、銀メダル8個、そして銅メダル21個と合計41個のメダルは、史上最高のメダル数を獲得しました。その数もすごいのは当然ですが、さらに感動したのは、各種目で状況が不利でもう負けてしまうのではないかと、いうところから、最後まであきらめずに戦いきり、逆転勝利をした試合がたくさんあったことですね。内村選手の体操も、伊調選手の女子レスリングも、卓球やバトミン

トンもそうでした。その一つ一つは、苦しい練習に耐え、努力を積み重ねてきて、自分をどこまでも信じて戦い抜いた不屈の魂があったのだと思います。さらに、男子400メートルリレーでは、これまた史上初の銀メダルを獲得しました。あのボルト選手を擁するジャマイカに次いで順位です。日本の四人の選手はいずれも100メートルは10秒台で、三位のカナダやアメリカの選手は9秒台の選手が何人もいるにもかかわらず、そのチームに勝ったのです。単独で走れば絶対負ける選手が、このチームプレーで勝利出来たのは、素晴らしいバトンタッチがあったからですね。思わずボルト選手もその素晴らしさを讃え、日本チームに駆け寄ってきてくれました。心をつにしてバトンタッチの時の距離を変え、練習を重ね、チャレンジしてきたその成果なのです。

これからの運動会に向けて、素晴らしい学びが出来たことだと思います。力を合わせ、心をつにすることで、予想以上の結果が生まれてくるものだ…。上記の『弱い自分に勝つ』は、人との比較ではな

く、自分に負けないこと、前の自分に勝つことが大切ですね。そして、やるのは、そのことがわかりやり始めた今なのです。今を外してはないのですね。まさに今を生きてほしいと思います。

外国語活動の時間に A L T の先生が



9月7日より10月にかけて、合計42時間、外国語活動の時間にアメリカから来られたブラッド先生に英語を教えていただいています。市の教育委員会からの派遣で、とても気さくな人柄で日本が大好きな先生です。子ども達も親しみやすく、先生は一躍人気者になりました。日数も日程的にも限られた時間ではありますが、休憩時間もふくめ、多くの子ども達と接してくれています。日本語の上手な先生なので、理解もしやすく、ユーモアに満ちあふれています。生きた英語に接するととても有意義に時間となっています。



以前子どもたちの三行詩の中で心に残った作品です。子どもたちの心がよく表現されていると思います。子どもたちは話したいこと、聞いてもらいたいことがたくさんあります。眼を見てしっかり聞き取り、共感してもらいたいんですね。今の生活スタイルや時間帯の設定からなかなか難しいこともありますが、家族そろっての食事はやっぱり大切なものですね。

